

安全データシート

作成 2004年1月15日
改訂 2017年5月15日

製品

製品の名称 シリコンウェット (NDS-50 NDS-50L)
供給者情報
会社名 ジェフコム株式会社
住所 〒579-9014 東大阪市中石切町 3-13-16
担当部署 品質管理課
電話番号 072-988-3813
FAX 番号 072-988-3800
推奨用途 ケーブル等の入線潤滑

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : なし

GHS分類

物理化学的危険性 : 区分外
健康に対する有害性 :
急性毒性 (経口) : 区分外
急性毒性 (経皮) : 区分外
急性毒性 (吸入:ガス) : 分類できない
急性毒性 (吸入:蒸気) : 分類できない
急性毒性 (吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感受性 : 分類できない
皮膚感受性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
環境に対する有害性 :
水生環境有害性・急性 : 分類できない
水生環境有害性・慢性 : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素 :

絵表示 : なし

- [予防策] : 取扱後はよく洗うこと。
- [対応] : 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- [保管] : 密閉容器に保管すること。
- [廃棄] : なし
- [使用上の注意] : 安全データシート (SDS) を参照して下さい。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
成分及び含有量	: 脂肪酸石鹼・水溶性シリコーンの配合品
官報公示整理番号 (化審法)	: 有り
官報公示整理番号 (安衛法)	: 既存
CAS番号	: 登録済み
危険有害成分	: 含有せず

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 多量の微温水及び石鹼水で洗いながす。症状がでた場合は、必要に応じて医者の診断を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに清浄な水で最低15分以上洗眼した後、医者の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 微温水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

最も重要な徴候及び症状に

関する簡潔な情報	: 情報なし
応急措置をする者の保護	: 救助者はゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項	: 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末、泡、炭酸ガス、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	: 情報なし
火災時の特定危険有害性	: 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特定の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火

作業は、可能な限り風上から行う。
関係者以外は安全な場所に退避させる。
消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク等）を着用する。
環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。
除去方法 : 少量の場合は、吸着剤（土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス・雑巾等で良く拭き取り、多量の水で洗い流す。
多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
保管
適切な保管条件 : 屋内冷暗所
安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
許容濃度
管理濃度 : 設定されていない
日本産業衛生学会（1998年度版）: 設定されていない

ACGIH (2003 年度版)	: 設定されていない
保護具	
呼吸用の保護具	: 通常の取扱いでは特に必要ない
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
眼の保護具	: 側板付き普通眼鏡型
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業着

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	: 液体
色	: 淡黄色
臭い	: 微臭有り
pH	: 弱アルカリ

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: 情報なし
融点 (流動点)	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
引火点	: 作用なし
発火点	: 作用なし

爆発特性

爆発限界	: 作用なし
蒸気圧	: 作用なし
蒸気密度	: 作用なし
密度	: 情報なし

溶解性

水溶解性	: 可溶
溶媒溶解性	: 情報なし

オクタノール/水分配係数	: 情報なし
その他のデータ	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用条件で安定
反応性	: 自己反応性なし
避けるべき条件	: 情報なし
避けるべき材料	: 酸との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	: 情報なし
その他	: 情報なし

1 1 . 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
局所効果（皮膚、目など）	
皮膚腐食性	: 情報なし
皮膚刺激性	: 情報なし
眼刺激性	: 情報なし
感作性	: 情報なし
慢性毒性・長期毒性	: 情報なし
がん原性	: 情報なし
I A R C	: 認定されていない。
N T P	: 認定されていない。
日本産業衛生学会	: 認定されていない。
変異原性	: 情報なし
催奇形性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
その他のデータ	: 情報なし

1 2 . 環境影響情報

土壤中の移動性	: 情報なし
残留性／分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
生態毒性	
水生生物毒性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: なし
その他のデータ	: B O D ₅ : 4 6 1 p p m C O D _{Mn} : 2 5 0 p p m n - H e x : 1 6 4 p p m (製品0. 1%水溶液の値)

1 3 . 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。
廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法（廃棄物及び清掃に関する法律）、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

1 4 . 輸送上の注意

国内法規制	陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。
国際法規制	: 航空輸送は I A T A 及び海上輸送は I M D G の規則に従う。
国連分類・国連番号	: 国連の分類基準に該当せず
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。
緊急時応急措置指針番号	: なし

15. 適用法令

国内適用法

化審法	: 特定化学物質・監視化学物質を含有しない。
消防法	: 該当せず
安衛法	: 該当せず
毒劇物法	: 該当せず
船舶安全法	: 該当せず
航空法	: 該当せず
火薬取締法	: 該当せず
高压ガス保安法	: 該当せず
化学物質管理促進法	: 該当せず
海洋汚染防止法	: 該当せず

海外物質登録情報

T S C A	: 収載
E I N E C S No.	: 有り

16. その他

引用文献

- 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。